
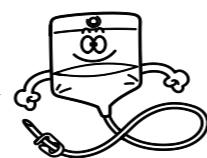









様 経尿道的前立腺切除術の入院日程表

	外来	入院・手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～尿道の管を抜去するまで	尿の管を抜去する日	尿道の管を抜去～退院まで	
月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
治療 処置		蓄尿を開始します 	7時 浣腸をします 手術着に着がえ、下着のパンツを着用したまま出棟します。 血栓予防の靴下を履きます	必要があれば帰室後酸素吸入をします 血栓予防の機械を足につけます 手術後は尿道に管が入っています。膀胱内を洗う処置を行うことがあります。手術後はT字帯か紙オムツを着用します。 止血のために尿道の管を固定します	 回診で医師が固定を解除します			尿道の管が抜けます 尿道の管が抜けた後、尿がどのぐらい出ているか、確認します。蓄尿を再開してください → 終了 管が抜けた後はご自身の下着を着用します	尿道カテーテル抜去後に排尿障害がないことを確認してから医師が退院決定します。	退院後の生活について 1. 感染 尿路感染が起きることがあります。1日1.5-2Lを目安に水分を摂取しましょう。
点滴 注射 内服	今まで飲んでいた薬の確認をします	飲んでいただく薬を確認します 夜9時、下剤をのみます	・普段服用している薬があれば別紙(薬の服用中止指示説明用紙)に沿って服用して下さい(分からない時は看護師に尋ねてください) 10時ごろから点滴を開始します	持続的に点滴をします 	→ 終了 今まで飲んでいた薬が再開になる場合があります(薬の内容については看護師が説明します)		抗生物質の内服薬が始まります 			2. 血尿 術後2週間程、血尿が出る事があります。水分摂取してもトマトジュース様になった場合受診して下さい。またアルコールや刺激物は出血を助長させるため控えて下さい。
検査	採血 レントゲン 心電図									
食事		夜9時以降何も食べないでください 水、お茶は飲んでもかまいません	朝から何も食べないで下さい 朝7時まで水、お茶は飲んでもかまいません		回診後食事を開始します					
活動		病棟内自由です		ベッド上安静(仰向け) (2時間後から寝返りができます) 尿の管が固定されている足は曲げないで下さい	回診後から病棟内自由です 					3. 排尿障害 会陰部を圧迫するもの(自転車、バイク)は控えて下さい。残尿感が強くなったら受診して下さい。
清潔		入浴 ひげそり 	めがね、コンタクトレンズ、時計、入れ歯、ヘアピン、指輪などアクセサリーは外します		回診後からシャワー浴ができます					4. 運動 バイク、自転車など会陰部圧迫するものは避けて下さい。
説明 指導	手術について医師から説明があります 手術前日までに麻酔科外来を受診します(/)	看護師より説明があります ・入院について ・蓄尿(尿を溜める)について 	午前中に手術室の看護師が訪問します			入院中に薬剤師が訪問します 	退院時、日常生活について説明します			
持物	入院日程表、入院のしおり、基礎情報用紙、入院診療計画書、入院証書、輸血承諾書、特別療養環境入室申込書、診察券、保険証、保証金、現在内服している薬、下着類、ティッシュペーパー、かかとのある靴、洗面用具(石鹸・歯ブラシ・歯磨き粉・髭剃り) T字帯か紙オムツ(どちらも売店で購入できます)、寝衣・タオル(レンタル可) ※尿取りパットが必要になる場合があります。必要時は看護師が声をかけます。			<シャワー時注意点> 尿道の管のバックは膀胱より上に持ち上げないで下さい。管が引っ張られないよう注意して下さい。管の挿入部は石鹸で洗って清潔に保って下さい。		<尿道の管抜去後> 手術や手術後管が入っていた影響で、尿漏れをすることがあるため尿取りパッドを使用して下さい。汚れた場合は尿量の確認を行っているため看護師に声をかけて下さい。		何か異常がありましたらに連絡してください 緊急連絡先：練馬総合病院 泌尿器科外来まで 03-5988-2290 		

* 状況によって予定が変更になる場合があります
練馬総合病院:泌尿器科
改訂日:2023年4月24日